

事業シート(令和6年度予算)

事業名	21800 環境都市推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総会計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全と活用、創出	
			項	1	総務管理費		環境基本計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	19	環境政策費		根拠計画			
担当課	森林・環境政策部 環境政策課	内線	2283							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地球環境の保全と市民の環境意識の向上及び具体的な行動や参画を促す。	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・環境審議会の開催 ・高山市自然エネルギーによるまちづくり検討委員会の開催 ・市民等による環境の保全や自然エネルギー利用の普及啓発 ・脱炭素先行地域づくり事業の促進
----	------------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標
自然エネルギーによる電力の創出量(年間)	未確定		90,000MWh
「自然環境の保全や自然エネルギーの活用をはじめ地球環境を守る取組が進んでいる」と感じている市民の割合	40.1%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R4			R5		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	1,190	390	1,203			
特定財源						
国費(脱炭素先行地域づくり事業補助金10/10)						
県費						
その他						
一般財源	1,190	390	1,203			
個票枝番	主な事業内容					
	環境審議会	410	164	273		
	自然エネルギーによるまちづくり検討委員会	530	100	530		
	森のエコハウス施設修繕等	50	0	200		
◎1	脱炭素先行地域づくり事業補助金					
	快適環境づくり市民会議					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

(千円)

R6予算		実施計画額		470,800
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
469,430	470,180	470,180	468,977	
468,242	469,000	469,000	469,000	
1,188	1,180	1,180	△ 23	
査定額	説明			
410				
205				
469,000				
310	41500生活環境保全事業費より移行			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・環境審議会の開催(2回) ・自然エネルギーによるまちづくり検討委員会の開催(1回)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・環境審議会の審議によって、環境施策の推進を図ることができた。 ・自然エネルギーによるまちづくり検討委員会の審議によって木質バイオマスに加え、小水力発電や地熱発電等市内の再生可能エネルギーのポテンシャルを活かした脱炭素のまちづくりの方向性を確立することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定 <p>・環境基本条例及び環境基本計画の基本理念、将来像の実現に向けた取り組みを推進する。</p>

5.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・快適環境づくり市民会議の活動や自然エネルギー利用と普及啓発の推進に必要な経費を計上 ・脱炭素先行地域として小水力発電所の整備等に対する支援に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和6年度予算)

事業名	21800 環境都市推進事業費	区分	<input type="checkbox"/> R5新規	<input checked="" type="checkbox"/> R6新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	環境政策課
枝番・内容	1 脱炭素先行地域づくり事業の実施		<input type="checkbox"/> R5拡充	<input type="checkbox"/> R6拡充		款	2	総務費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	総務管理費	内線	2282	
		<input type="checkbox"/>		目		19	環境政策費	作成年月	R6.2	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・2050年ゼロカーボンを見据えて、小水力発電所の整備等を行い、発電された電力を各エリアへ供給することで、自然エネルギーの地産地消と地域内資金循環を実現し、地域課題の解決を図る。	概要	・脱炭素先行地域に選定された取組みを実施する事業者へ補助金を交付する。
----	---	----	-------------------------------------

[参考] R4決算(Do・Check) R5.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R5当初予算(Action) R5.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)

R5決算(Do・Check) R6.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

R6当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	469,000
主な経費	・補助金	
対前年度増減額(当初予算)		469,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	<p>目的: 脱炭素先行地域に選定された取組(小水力発電所の整備、木質バイオマスの熱電併給設備の導入等)を推進することで、2050年の市全域ゼロカーボンの実現につなげる。</p> <p>R6実施内容: 小水力発電施設整備 6箇所 木質バイオマス熱電併給設備導入 3箇所 普及啓発事業 ウェルビーイング調査 普及啓発事業 見える化サービス導入</p>
[スケジュール]	R6.4~事業開始

事業シート(令和6年度予算)

事業名	21820 自然エネルギー普及促進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全と活用、創出	
			項	1	総務管理費		環境基本計画、地球温暖化対策地域推進計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	19	環境政策費		根拠計画			
担当課	森林・環境政策部 環境政策課	内線	2283							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・自然エネルギーの利用による暮らしの豊かさを実感できるまちづくりを推進する。	概要	・市民や事業者による木質バイオマスなどの自然エネルギー設備の導入を促進する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標
自然エネルギーによる電力の創出量(年間)	未確定		90,000MWh
二酸化炭素(CO2)削減量(年間)	未確定		12.4万トン

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R4			R5		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	32,440	9,574	36,220			
特定財源						
国費()						
県費(太陽光発電設備等設置事業費 10/10)	21,000	1,122	21,000			
その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	8,000	7,000	5,000			
一般財源	3,440	1,452	10,220			
個票枝番	主な事業内容					
	木質バイオマス活用促進事業補助金	6,736	6,126	8,000		
	未利用間伐材の搬出促進	3,000	1,733	2,800		
	自然エネルギー活用支援	1,170	60	220		
	自家消費型太陽光発電設備等導入補助金	21,000	1,122	21,000		
	指定避難所太陽光発電等設備点検、修繕	534	534	4,200		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

(千円)

R6予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
31,421	31,420	31,420	△ 4,800
19,379	19,400	19,400	△ 1,600
		6,000	1,000
12,042	12,020	6,020	△ 4,200
査定額	説明		
8,000			
2,800			
220			
19,400			
1,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ペレットストーブ等導入台数 63台 ・積まマイカーによる未利用間伐材収集量 338t ・自家消費型太陽光発電設備等導入件数 2件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・木の駅プロジェクトと積まマイカーの運行によって地域の未利用材を木質燃料として利用するエネルギーの地産地消を促進することができた。 ・地域における自然エネルギー導入に向けた取組みにおいて、アドバイザーの派遣など自然エネルギー活用支援制度の活用が図られた。 ・自家消費型太陽光発電設備等導入補助金については、財源となる県支出金の交付決定が9月となり、募集期間が短かったため、申請件数が伸びなかった。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・民間施設における木質バイオマス熱供給事業の普及を促進し、木質バイオマスの需要拡大を図る。 ・地域における自家消費型エネルギー活用の促進を図る。 ・脱炭素先行地域の選定に向けて取り組むなど、第二次高山市地球温暖化対策地域推進計画に基づき、再生可能エネルギーの導入や省エネルギー、気候変動への対応につながる具体的な取り組みを進める。

5.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・地域主導による自然エネルギー活用に対する支援に必要な経費を計上 ・自家消費型太陽光発電設備等導入に対する支援に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和6年度予算)

事業名	21840 地球温暖化対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全と活用、創出	
			項	1	総務管理費		環境基本計画、地球温暖化対策地域推進計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	19	環境政策費		根拠計画			
担当課	森林・環境政策部 環境政策課	内線	2283							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・クリーンエネルギー自動車の普及促進などにより低炭素社会の形成を図る。	概要	・電気自動車用充電設備の設置によるクリーンエネルギー自動車の普及促進
----	-------------------------------------	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標
自然エネルギーによる電力の創出量(年間)	未確定		90,000MWh
二酸化炭素(CO2)削減量(年間)	未確定		12.4万トン

2.事業の実施結果等(Do)

		R4			R5		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		8,480	7,956	7,520			
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(雑入)		137				
一般財源		8,480	7,819	7,520			
個票枝番	主な事業内容						
	電気自動車用急速充電器の設置・運営	8,480	7,956	7,520			

4.令和6年度予算編成(Action)

R6予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
7,572	7,570	7,570	50
7,572	7,570	7,570	50
査定額	説明		
7,570			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・急速充電器(9基)利用台数 7,364台/年
評価等	・経路充電、緊急充電として利用されており、走行中にCO2を排出しないEV自動車等の普及促進に寄与している。 ・概ねすべての設置場所で利用者が増加している。利用料が無料であることから、利用者の満足度も高い。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・運輸部門の温室効果ガス削減のため、引き続き、EV等の次世代自動車の普及促進を図る。 ・第二次高山市地球温暖化対策地域推進計画に基づき、再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの取り組み、気候変動への適応などにつながる具体的な取り組みを進める。 ・市で設置した急速充電器の保守期間が終了することを踏まえ、市における急速充電器のあり方を検討する。

5.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・電気自動車用急速充電設備の維持管理に必要な経費を計上
---------------------	-----------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和6年度予算)

事業名	21850 生物多様性保全推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	2	総務費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全と活用、創出	
			項	1	総務管理費		環境基本計画、生物多様性ひだたかやま戦略、過疎地域持続的発展計画			
			目	19	環境政策費		根拠計画			
担当課	森林・環境政策部 環境政策課	内線	2283							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・その土地本来の生態系の保全や里地里山の保全と利用の推進などにより、生物多様性の保全を図る。	概要	・自然環境学習や山の自然学校による自然保護の必要性の啓発や自然と親しむ機会の提供 ・土地本来の木を植樹する「いのち森づくり」の実施 ・特定外来生物に関する知識の普及や防除活動の実施
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標
特定外来生物防除活動団体数	12団体		-
特定外来生物防除活動参加者数(延べ人数)	161人		-

2.事業の実施結果等(Do)

		R4			R5		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		8,210	7,230	8,730			
特定財源	国費()						
	県費(生物多様性保全推進事業費1/2、環境学習推進事業費2/3)		2,012	2,150			
	その他()						
一般財源		8,210	5,218	6,580			
個票枝番	主な事業内容						
	自然環境学習(五色ヶ原の森委託分)	2,500	2,769	2,940			
	いのちの森づくり	890	45	970			
	特定外来生物の防除・啓発	4,300	4,024	4,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

R6予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
9,804	9,360	9,360	630
4,985	2,570	2,570	420
4,819	6,790	6,790	210
査定額	説明		
2,940			
590			
4,850			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績、評価等(Check) R5.8実施

事業実績	・自然環境学習の開催 17校 719人 ・山の自然学校の開催 5回 71人 ・特定外来生物講習会、出前講座の開催 4回 48人
評価等	・市内小中学校を対象として乗鞍山麓五色ヶ原の森等を活用した自然環境学習を行い、地域の自然とのふれあいの場を提供した。 ・特定外来生物防除講習会や出前講座により、民間団体や町内会の自主的な防除活動につながった。 ・親子で参加できる山の自然学校を開催し、自然環境に対する意識の向上を図った。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定 ・引き続き自然環境学習の機会を提供するとともに、市民による主体的な生物多様性保全の取り組みの拡大を図る。

5.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・生物多様性の保全と啓発に必要な経費を計上
---------------------	-----------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

事業シート(令和6年度予算)

事業名	62300 自然公園等管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	6	商工費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全と活用、創出	
			項	2	観光費		環境基本計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	3	自然公園費		根拠計画			
担当課	森林・環境政策部 環境政策課	内線	2283							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域特有の自然資源や希少動植物、自然公園等の保全と利用の推進などにより、自然環境の保全と活用を図る。	概要	・国立公園、県立自然公園等における保護と適正な利用の推進 ・乗鞍山麓五色ヶ原の森や既設の登山道、自然公園施設の適正な利用と利用者の安全確保の推進
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R4実績	R5実績	R6目標
「自然環境の保全や自然エネルギーの活用をはじめ地球環境を守る取組が進んでいる」と感じている市民の割合	40.1%		↗

2.事業の実施結果等(Do)

		R4			R5		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		94,564	90,250	107,784			
特定財源	国費(中部山岳国立公園活性化事業費1/2)						
	県費(乗鞍スカイライン道路/パトロール事業委託金10/10等)	13,980	14,316	14,400			
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金、夢・まちづくり基金繰入金)	10,000	10,000	30,000			
一般財源		70,584	65,934	63,384			
個票枝番	主な事業内容						
	乗鞍山麓五色ヶ原の森の保全・管理	25,590	24,681	57,200			
	乗鞍スカイラインの適正利用の推進	32,465	32,109	15,965			
	エコパークの推進	1,020	926	910			
	ジオパークの推進	13,850	13,090	8,000			
	登山道管理	9,710	8,663	13,440			
	県中部山岳国立公園活性化推進協議会負担金	11,500	10,291	11,500			
◎1	県中部山岳国立公園指定90周年記念事業負担金						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和6年度予算編成(Action)

R6予算		実施計画額		90,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
133,542	131,771	131,771	23,987	
18,254	18,263	18,263	3,863	
115,288	113,508	79,448	16,064	
査定額	説明			
64,271				
34,625				
1,200				
3,000				
15,880				
11,500				
100				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和4年度事業実績・評価等(Check) R5.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 乗鞍山麓五色ヶ原の森の入り込み 3,452人 乗鞍スカイラインの入り込み推計 65,023人 岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会による活性化事業の実施 飛騨山脈ジオパーク構想の取組みを推進するため、一般社団法人飛騨山脈ジオパーク推進協会を設立
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境保全と地域振興のバランスを考慮した事業を推進する必要がある。 国立公園満喫プロジェクトや岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会など、国、県、関係団体等との連携により、地域活性化に向けた取り組みの検討や各種事業を実施し、地域の魅力の向上を図ることができた。 乗鞍山麓五色ヶ原の森については、新型コロナウイルス感染症に対応した実施方法の改善や積極的な情報発信などにより、過去3年間で最も多い入込を確保するとともに、高い満足度を得ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、乗鞍スカイラインや乗鞍山麓五色ヶ原の森について、エコツーリズムの視点による利用促進のあり方に関する検討を進める。 中部山岳国立公園及び周辺地域については、中部山岳国立公園南部地域利用推進協議会や岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会、飛騨山脈ジオパーク推進協会のほか、地元関係団体等と連携を図り、自然保護と地域活性化の一体的な取組みを推進する。 乗鞍山麓五色ヶ原の森について、R5に開山20周年を迎えることから、あらためて魅力や価値を広く市民等に発信するため、記念事業を実施する。

5.令和5年度事業実績・評価等(Check) R6.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 乗鞍山麓五色ヶ原の森の登山道、山小屋等の修繕に必要な経費を計上 乗鞍スカイラインの保護と利用に必要な経費を計上 飛騨山脈ジオパーク構想、ユネスコエコパークの推進に必要な経費を計上 登山道の維持、安全確保等に必要な経費を計上 中部山岳国立公園、県立自然公園等の活性化の推進に必要な経費を計上
財務部 査定の 考え方	・五色ヶ原の森点検業務委託については0査定
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和6年度予算)

事業名	62300 自然公園等管理事業費	区分	<input type="checkbox"/> R5新規	<input checked="" type="checkbox"/> R6新規	会計	1	一般会計	担当課	環境政策課
枝番・内容	1 県中部山岳国立公園指定90周年記念事業負担金		<input type="checkbox"/> R5拡充	<input type="checkbox"/> R6拡充		款	6		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		2	観光費	内線	2283
		<input type="checkbox"/>		目		3	自然公園費	作成年月	R6.2

事業の目的・概要(Plan)

目的	・中部山岳国立公園が令和6年12月4日に国立公園指定90周年を迎えるにあたり、公園に含まれる4県、12市町村等が連携し、国立公園等の魅力を伝える記念事業を行う。	概要	・国立公園指定90周年を契機に環境省をはじめ、中部山岳国立公園に含まれる岐阜県、長野県、富山県、新潟県、12市町村と公園関係者により公園が持つ魅力や価値の発信を行い、公園の保護と利用の好循環の実現等を旨とする。
----	--	----	---

[参考] R4決算(Do・Check) R5.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R5当初予算(Action) R5.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)

R5決算(Do・Check) R6.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

R6当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	100
主な経費	負担金	
対前年度増減額(当初予算)		100

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R4完了 <input type="checkbox"/> R5完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・記念事業の実施 ・シンボルマークの応募、選定 ・記念品の配布 ・各種イベントでの普及活動 など
[スケジュール]	記念事業 岐阜県・富山県・新潟県(令和6年4月～11月) 長野県(令和6年12月)